「いつも読んでいただき、ありがとうございます。」
【住宅・店舗の設計・施工・監理】株式会社ミズノ 空間設計ミズノ ～1950年4月1日創業。創業76年目です。～
【会社創業より 27974日(11月1日付)】
2026年11月1日(日曜日)発行/発信243号

～建築は、建てることより育てること～

MIZUNO"旬感"だより

vol.237

令和８年11月号

あやなす
彩なす
色や模様が入り混じり
美しい眺めをつくる

今月の言葉

「課題回帰」の思考法

田坂広志著 “直感を磨く”より

ある超高層ビルのオーナーが、あるとき、エレベータの数が足りないという問題に直面した。

そのビルで働く人々の数に比べて、エレベーターの数が少なかったため、毎朝のラッシュアワー時に、なかなか来ないエレベータに対して、人々の不満が溢れたのである。

そこで、この問題の解決方法を検討するチームが作られ、そのチームでは、

「高速エレベーターに取り替える」
「建物の外部にエレベータを増設する」
「人々の出社時間をずらす」

など、様々な解決方法が検討されたが、いずれも、コストや手間のかかる実現性の無いアイデアだった。

しかし、このチームが問題の解決に行き詰っているとき、ある人物のアイデアが、この問題を見事に解決したのである。

それは、
「エレベータのドアの横に『鏡』を置く」
という解決策であった。

そして、この解決策を実行することによって、人々は、エレベータを待っている時間を、自身の身だしなみを整える、自分のファッションを確認するなどに使えるため、待ち時間を苦にすることは無くなり、不満は見事に解消されたのである。

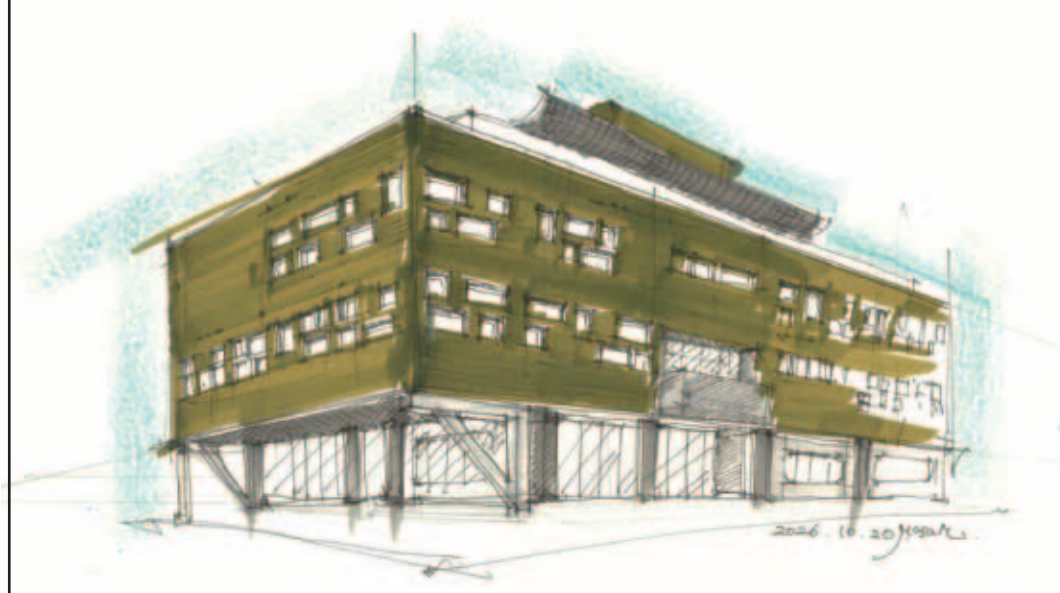
このエピソードは、技術的な解決策や制度的な解決策など、表面的な「解決の方法」に目を奪われて問題の本質を見失ったとき、本来の「解決すべき課題」、すなわち、「エレベータ利用にとって、待つ時間が苦痛である」という本質的な問題に目を向けることによって「視野狭窄」を脱し、まったく斬新な解決策を発想できたというエピソードである。

11月27日には1950年４月１日の創業から
２８０００日を迎えます。
引き続き、よろしくお願いいたします。

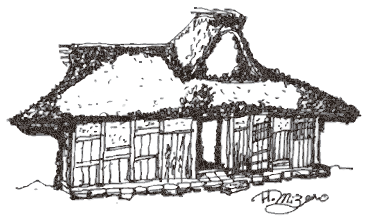
水野博旨



空間設計ミズノ のデザイン記録 vol.114



名古屋市東区の白壁に建つ**中産連ビル**。1963年に完成した、建築家・坂倉準三氏が設計したモダニズム建築です。ル・コルビュジエのもとで学んだ坂倉氏らしい、機能とデザインが一体となっており、まず目を引くのは、深みのある緑色のタイルと、大小さまざまな窓が並ぶ外観です。一見ランダムに見える窓の配置ですが、実は内部の会議室の大きさとも関係しているのだとか。４階には反り上がった庇(ひさし)があり、建物に軽やかな動きを与えています。階段の造形や木製の手すり、波模様の床など、館内にも見所が多々あります。竣工から 60 年以上たった今も使われている、名古屋が誇る昭和モダニズムの名建築です。　スケッチ・文：水野真宏



伝統再築士による
古民家＆日本建築講座
伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の高い木造物を残すための専門家

リニア開業を見据えた名古屋駅の再開発



リニア中央新幹線の開業を見据え、名古屋駅周辺では駅前広場の再整備や交通機能の強化など、都市の玄関口にふさわしいまちづくりが進められています。東側では、駅前のロータリー交差点やタクシー乗降場の配置により駅前空間が狭く、また、まちの発展に伴い、人のための空間やまちとの繋がりが不足してきました。そこで、歩行者空間や乗り換え経路を充実させ、駅と周辺市街地を繋ぐ駅前広場の再整備が計画されています。一方、西側では、歩行者空間が狭いことなどにより、駅とまちが分断されており、まちとの繋がりや回遊性が乏しくなっています。なので、国際色やサブカルチャーといった地域独自の魅力を生かし、店舗や広場を通じて人々が交流するまちづくりが目指されています。更に、バリアフリー対応や東西のアクセス性の向上など、計画案が市のホームページに添付されているので、ぜひご覧ください。リニアの開業時期や名鉄名古屋駅周辺の再開発計画には見直しが生じておりますが、名古屋らしい街の個性をどのように残し、発展させるか、今後の進展が注目されます。

この旬感だよりはホームページでもご覧いただけます。

株式会社ミズノ ホームページ→
www.mizuno1950.co.jp

空間設計ミズノ ホームページ→
www.mizuno-architects.com

― お客様専用フリーダイヤル ―
0120-387-312（さわやかなすまいに）
mizuno@mizuno1950.co.jp

― 建築は、建てることより育てること ―
株式会社ミズノ
一級建築士事務所
空間設計ミズノ

紅葉を観ながら温泉に入り、秋の味覚に舌鼓を打つ…これは日本でしか味わえない秋の楽しみです。周知のとおり日本は世界有数の温泉大国で3000ヶ所を超える温泉地と約２万7000本の源泉があり断トツなのです。（２位のイタリアは温泉地が約200ヶ所、源泉は約1200本なので差は歴然！）

なぜ、日本に温泉が多いの？

活動している火山の数が多く、4つのプレート（地球の表面を覆う大きな岩盤）上に位置している日本は、豊富な熱源と多量に降り注ぐ雨や雪により地下水が貯えられているという点で地理的に温泉地として恵まれているのです。多くの地域で温泉が自然に湧き出るので、古くから人々に親しまれ、心身共に癒す場として重要な役割があります。日本最古の温泉とされる愛媛県の道後温泉は聖徳太子も入浴していたといわれています。

そもそも、温泉ってなに？

温泉法により温泉の定義は２つ定められており、どちらかクリアしていれば認められます。

- **湧き出るときの温度が 25 度以上**
- **19種類の特定成分（リチウムイオンなど）のうちどれか１つ以上が規定量以上有すもの**

なので、温かくなくても特定成分が含まれていれば温泉と認められます。長野県の毒沢温泉は２～10 度で、加温されたものと源泉のままの冷たい浴槽があり、交互浴を楽しむそうです。“冷たい温泉”、入ってみたいですね。

日本三大温泉とは？

江戸時代には庶民に “温泉ブーム” が巻き起こり、大相撲の番付表に見立てた“温泉番付”が作られました。東の横綱は**草津温泉**（群馬県）、西の横綱は**有馬温泉**（兵庫県）。当時は “湯治” といって、心身の疲労回復や疾病の療養目的で行くことが多く、１泊滞在する“一夜湯治”が大ブームとなりました。現在の“一泊温泉旅行”のはじまりですね。その頃、儒学者の林羅山が日本三名泉として、上の２つと**下呂温泉**（岐阜県）を称え、日本三大温泉とされています。

最初に見つけたのは鳥や獣?!

シカ、クマ、ツル、ワシなど、野生動物が山間に湧く熱い水たまりに身体や羽を浸し、傷を癒えると軽やかに去っていく姿から、人間が温泉の効能を知ったという “開湯伝説” があります。確かに“○の湯”といった温泉名に鳥獣が入っており、その名残を感じることがありますね。人より五感に優れた動物から学ぶことはまだまだあるかもしれません。



第84回ミズノメセナイベント予告

～音楽で紡ぐ、日本とチェコの風景～

チェコ音楽の祭典コンクール受賞者によるコンサート

ミズノメセナイベントでお馴染みのピアニスト 榊原祐子さんが代表理事を務める一般社団法人 日本チェコ楽友協会主催のコンクール受賞者７名と榊原祐子さんによる演奏です。日本とチェコの名曲をお楽しみください。

2027年 2月 27日（土曜日）

開場 14：30（受付開始）／**開演 15：00**

（途中休憩あり。17：00 頃終了予定）

◆会場：株式会社ミズノ１階ヴィレボヌール（名古屋市港区）

※地下鉄 東海通駅1番出口より徒歩3分

◆参加費：１０００円（高校生以下無料）

日本チェコ楽友協会は、“日本で広くチェコ音楽を紹介すること”“若い音楽家の舞台経験を応援すること”を目的にチェコ音楽専門コンクール、受賞記念コンサート、チェコ公演を毎年開催しています。

詳細のご案内、及び参加のお申込み受付は来月から予定しておりますので、しばらくお待ちください。皆さまのご参加をお待ちしております。

Take40 駆け出し建築士の BOOKS & CINEMAS

■教養としての建築入門 – 見方、作り方、活かし方

著：坂牛 卓



名建築で過ごす時間はなぜ格別なのか？この本は、日本と西洋の建築史を一望し、観賞・設計・社会という三つのアプローチから建築を堪能する入門書です。

特に印象に残ったのは第２部の設計論の話で、設計理念を紡いでく考え方です。設計理念とは設計士が建築を考える時の判断基準になる要素で、“設計・完成・反省を繰り返す中で蓄積されていくものだ”という点です。自分が設計していない物件の図面や建物を見る時に、なぜこのような計画になったかを自分が設計した立場で考えることで、自分の設計理念が紡がれていくのだと思いました。また、設計理念を紡ぐ上で大切なのは、“カッコいい” という感覚を空間構成や素材の選択など、具体的な設計判断につなげられることが大切なんだと思いました。内容は少し専門的ですが、知識を持っていると見方がわかってきます。建物探訪に興味ある方はぜひ読んで、お出掛けください。

株式会社ミズノ・空間設計ミズノのご紹介

住宅や店舗の建築・リフォーム・リノベーション等の設計・施工を承っています。本社と設計部・空間設計ミズノ（一級建築士事務所）は東区の名古屋陶磁器会館内にあり、港区七番町の旧本社は港支店として今まで通り稼働しています。どちらの場所でもご相談が可能です。夜間や土日祝日、小さなお子様連れでも大丈夫です。


本社・設計部 空間設計ミズノ（名古屋陶磁器会館内）


港支店（旧本社）

本社は１階103号室
空間設計ミズノは２階204号室です。

２階が事務所です。ご用の際は北側の階段をお上りください。

本社103号室にて

住まいに関する疑問
不安はありませんか？
建築士に話して
建築士と考えましょう

完全予約制　【１日３組限定】　相談無料

個別無料相談会 開催中

11／10・17・24（火）

①13時～
②14時～
③15時～

オリジナル木小物プレゼント中!!

会社情報や施工例はこちらにて
↓
株式会社ミズノ
空間設計ミズノ

建物に関するお困りごとやご要望は、お気軽にお電話やメールでご相談ください。

ご予約は 0120-387-312へ 又は mizuno@mizuno1950.co.jp

住宅・店舗の設計・施工・監理 －1950年創業－

株式会社 ミズノ

空間設計 ミズノ
〈一級建築士事務所〉

□ 徳川本社　〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10番３号
名古屋陶磁器会館１階 103号室
【お客様相談窓口 0120-387-312】

□ 設 計 部　〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10番３号
名古屋陶磁器会館２階 204号室
TEL 052-982-8316　FAX 052-982-8357

□ 港 支 店　〒455-0001
名古屋市港区七番町５丁目３番地
TEL 052-652-6886　FAX 052-661-0653

住宅・店舗等の新築設計施工／リフォーム・リノベーション・コンバージョン（用途変更）の設計施工／エクステリア・グランドデザインの設計施工など、ご相談ください。



◆地下鉄 桜通線 高岳駅・車道駅より徒歩20分
◆市バス 赤塚白壁バス停より徒歩５分

Google Map

〈本社・設計部〉　〈港支店〉



◆地下鉄 名港線 東海通駅より徒歩３分
◆社屋南側に駐車場あり